



鈴鹿型コミュニティ・スクール

・ ・ 地域とともにある学校づくり ・ ・

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんが「どんな子どもを育てていくのか」、「どんな学校、地域にしていくのか」を共に考え、知恵を出し合い、めざしていく子どもや地域の姿を共有し、協働しながら「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。



学校運営協議会は、保護者や地域の声を反映させる場として、委員の皆さんによる活発な協議が大切です。

鈴鹿型コミュニティ・スクールの3つの特徴

- ① 平成16年度から取り組んできた子どもたちを育む「学び」と「安全安心」の2つのネットワークづくりを基盤として、学校と地域との双方向の連携を行いながら、子どもの教育の充実発展をめざします。
 - ② 市内のどこの小中学校でも、学校運営協議会で保護者や地域の声を反映させた開かれた学校づくりを進めます。
 - ③ 学校の実態や地域の特色など、その多様性を大切に、学校運営協議会での主体的な活動を進めます。
- ※ 「学校運営協議会」は、地域住民や保護者等の概ね10人の委員で構成されています。各委員は、子どものより良い成長に関わる当事者として、それぞれの強みや知恵を出し合います。

学校運営協議会の協議で大切にすること

- ☆ 「学校と家庭・地域がともに、子どもたちを育てていく」、「子どもの教育をどのようなまちづくりにつなげていくのか」といった視点で協議をします。
- ☆ 子どもの姿や学校の実態に基づいて協議します。
- ☆ より良い学校づくりに向けて、子どもや地域の課題や支援について協議します。
- ☆ 学校や地域の実態に基づいて、学校の「特色」を明確にします。
- ☆ 教育活動の成果や改善結果について、客観的指標による評価や検証を行います。
- ☆ 保護者や地域への積極的な情報発信を行います。

コミュニティ・スクールQ&A

コミュニティ・スクールと他の学校の違いはどこですか？

学校運営や学校課題の改善などについて、保護者や地域の皆さんの参画が、仕組みとして保障されているところが、他の学校との違いです。

学校と保護者・地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちの成長を支えていく、そんな学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。



コミュニティ・スクールでは、どのような活動が行われていますか？

【学校運営協議会】

◇「学力向上」、「子どもの安全安心」など子どもや地域の課題について協議します。

【組織づくり】

◇子どもが主体となる様々な取組を企画・運営するために、「おやじの会」などの担当部会の設置が進んでいます。

【学校支援】

◇ボランティアによる学習支援や見守り活動などの支援活動が行われています。

【主体的な取組】

◇「ラジオ体操の会」、「避難訓練」、「稲生っ子宣言」など、各学校の特色ある取組が行われています。

コミュニティ・スクールでは、どのようなことが期待されますか？

【子どもたちは】

- ☆ 地域の方々との触れ合いを通じて、地域の子どものとして育ちます。
- ☆ 地域の歴史や文化を知り、地域への愛着を育みます。
- ☆ ボランティアの方の見守りや学習支援により、安全で安心な教育環境の中で成長します。

【学校では】

- ☆ 保護者や地域からの信頼関係や協力が高まります。
- ☆ 教育活動の内容や質の充実が得られます。
- ☆ 教職員の児童生徒と向き合う時間が増えます。

【地域では】

- ☆ 子どもを中心に、学校を拠点とした地域のつながりが広がります。
- ☆ 地域の人が培ってきた知識や技術を発揮する場が生まれます。
- ☆ 地域行事等に参加する子どもが増えます。



鈴鹿市教育委員会では、コミュニティ・スクールが地域に根付いていくことで、地域による学校支援が中心の「支援型」のコミュニティ・スクールから、学校・保護者・地域住民が子どもの教育課題を共有・協議し、具体的な改善に取り組む「連携型」のコミュニティ・スクールへ発展させ、さらに学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、主体的で具体的な活動を積み重ねる「協働型」のコミュニティ・スクールをめざします。